

赤十字有功会から県内児童養護施設へ絵本を贈呈しました

2026 年 3 月 9 日（月）、日本赤十字社沖縄県支部において、沖縄県赤十字有功会から県内の児童養護施設への絵本贈呈式を行いました。

赤十字有功会から県内児童養護施設への絵本・書籍の贈呈は、今回で 13 回目となっており、県内児童養護施設 8 施設へ 60 冊の絵本が贈呈されました。

沖縄県赤十字有功会の仲村義明会長は「読書は言葉への理解や表現力を育てるだけでなく、物語の場面を想像し、登場人物の気持ちを思いやる力を養う大切な機会でもあります。今回贈呈する絵本が、子どもたちの興味や関心を広げ、成長の一助となることを願います。」と挨拶を述べられました。

沖縄県児童養護協議会の上江洲肇会長は「子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増す中、こうした継続的な支援が健やかな成長につながります。今回の絵本をきっかけに、子どもたちが本に親しみ、学びへの関心を深めていくことを願っております。ありがとうございました。」と感謝を述べられました。



赤十字有功会から災害対策本部モニターを寄贈していただきました



2026 年 3 月 9 日（月）、沖縄県赤十字有功会から沖縄県支部へ災害対策本部モニターをご寄贈いただきました。

本モニターは、災害時の情報共有の強化や円滑な救護活動に活用されるほか、平時の防災セミナーや救急法講習、救護訓練等にも活用される予定です。

仲村義明会長は、「本モニターの活用により、災害時の状況把握や関係機関との迅速な情報共有が図られ、適切な支援活動につながることを期待しています。また、平時の活用を通じて、赤十字活動のさらなる充実に寄与することを願っています」と述べられました。

JRC 中学・高校春季リーダーシップ・トレーニング・センターを開催しました

青少年赤十字（JRC）の宿泊研修「中学・高校春季リーダーシップ・トレーニング・センター」を、糸満青少年の家にて 3 月 27 日～28 日の 1 泊 2 日で開催しました。

今回は県内の中学生・高校生あわせて 58 名が参加し、防災学習や救急法、戦争や紛争時に人を守るルールへの理解を深める国際人道法、視覚障がいへの理解を深めるための講話、さらに異文化理解をテーマにメキシコ出身の講師を招いたメキシコ料理の調理体験などを実施しました。

これらのプログラムは、生徒たち自身が企画・運営したもので、体験を通して自ら考え、学びを深める機会となりました。



150年、続く理由。

それは、あなたの支えです。

想いの力を、
救う力に。



赤十字は、
動いてる!
with You

まもなく5月の赤十字会員増強月間です。

赤十字の活動は、皆さまからのあたたかいご寄付に支えられています。

こうした支えのもと、赤十字は2027年に創立150周年を迎え、11月には「九州八県赤十字大会」が沖縄県で開催されます。

2026年度も活動資金へのご協力など、一層のご支援をお願いいたします。

銀行等の窓口に訪問することなく、ご自宅からご寄付いただくことが可能です。

クレジットカードによるご寄付のお申込みはこちら

日本赤十字社 寄付 検索

インターネット：<https://donate.jrc.or.jp/lp/>

2次元バーコード



遺言・相続・御香典での活動資金ご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いてきた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な人を亡くされたご遺族から「故人の意思により寄付したい」というお申し出が増えています。赤十字では、このような尊いご意思に応えるため、遺贈や相続財産などのご寄付を承っております。 お問合せ先： 沖縄県支部 振興担当